



温故知新



夏の準備！水分補給のススメ



熱中症にならないための

一口に水分補給と言いますが…

液体ならすべて補給に適した「水分」となるわけではありません。皆さんは水分として何を飲んでいきますか？

ジュース



ジュースは糖分が多いため大量に摂取すると、過剰に摂取した糖により高血糖となり、利尿による脱水を起こします。

ジュースは水分補給には適していません。

カフェインを含む飲料



水以外の水分補給としてお茶を飲んでいる方は多いと思いますが、お茶に含まれるカフェインには利尿作用があります。水分補給に最適とはいえません。

水・経口補水液



水は水分補給に最も適した飲み物です。発汗時は汗とともにナトリウムも失われます、汗を多くかいた時は経口補水液などで水分とあわせて塩分も補給しましょう。経口補水液にはブドウ糖が含まれます、ブドウ糖は腸管での水分の吸収を促進します。

飲み物の温度

冷たすぎる飲み物は胃腸を弱らせ食欲を低下させます。水分を摂っているのに体がだるい、食欲がないという方は、冷たいものを多量に飲んでいるケースが多いようなので注意してください。

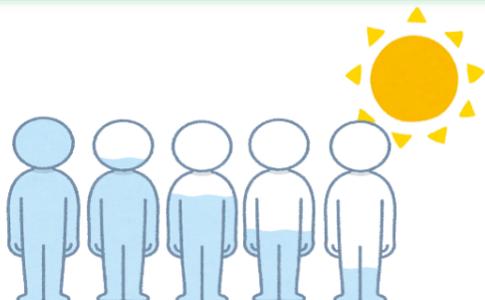
水分補給のタイミング

「のどが渴いた」と感じる時にはすでに脱水がはじまっているため、水分を欲する前に意識して補給することが大切です。

水分補給時のポイント

【今号の主な内容】

- P① 水分補給
- P② 感電災害・お知らせ
- P③ 施工検討会
- P④ ことわざ・次回案内



発行

野田工業 株式会社
 東京都中央区銀座6-6-19
 TEL : 03-3572-1866

ことわざ・格言にならう安全衛生訓

● 鰻に荷鞍 ●

・荷運びは正しい搬器で正しく運搬



ヌルヌルしたウナギの背に、荷鞍をのせると、荷鞍は安定しないし、荷鞍に積んだ荷物もどうなるか保証できません。

職場で荷物を運搬するとき、台車やパレット、トラックの荷台などに荷物を積みますが、使用する搬器などが不安定だったり、積み方が悪いと、途中で荷が崩れたり落下したりして思わぬ事故を引き起こすことになります。

台車やフォークリフト、トラックなどで運ぶとき、近いところだからと、つい無理に積んだり不安定に積んでいるのを見受けますが、文字通り「鰻に荷鞍」で物騒です。

また、長い距離をトラックなどで運搬する場合、ガッチリ荷掛けをやったつもりでも、走行中に荷掛けがゆるみ、荷崩れや落下による交通事故が少なくありません。

運搬車等に積まれた荷物は、静止状態と違って慣性などの物理的な力が作用し、不安定な状態になりがちです。荷物を運ぶときは正しい荷鞍（搬器）に、正しく積んで安全に運びましょう。

ご参加ください

【 職長会のお知らせ 】

★日時 2021年6月21日(月)

★時間 18時00分～

★会場 銀座ユニーク 3階



野田工業株式会社

施工検討会 ～技術顧問のつぶやき～

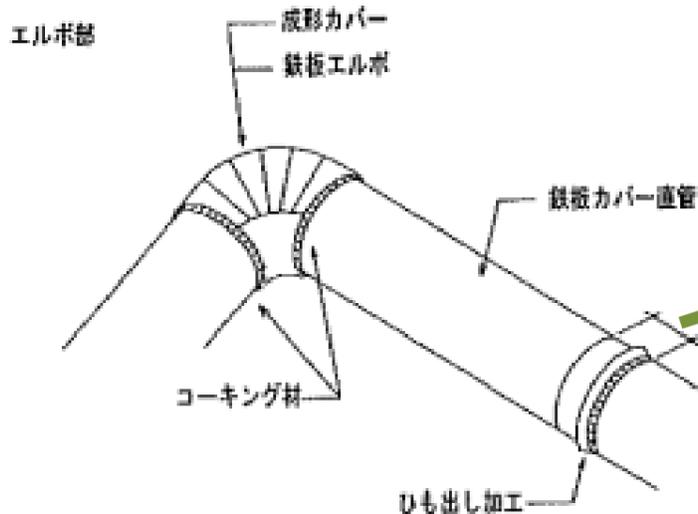
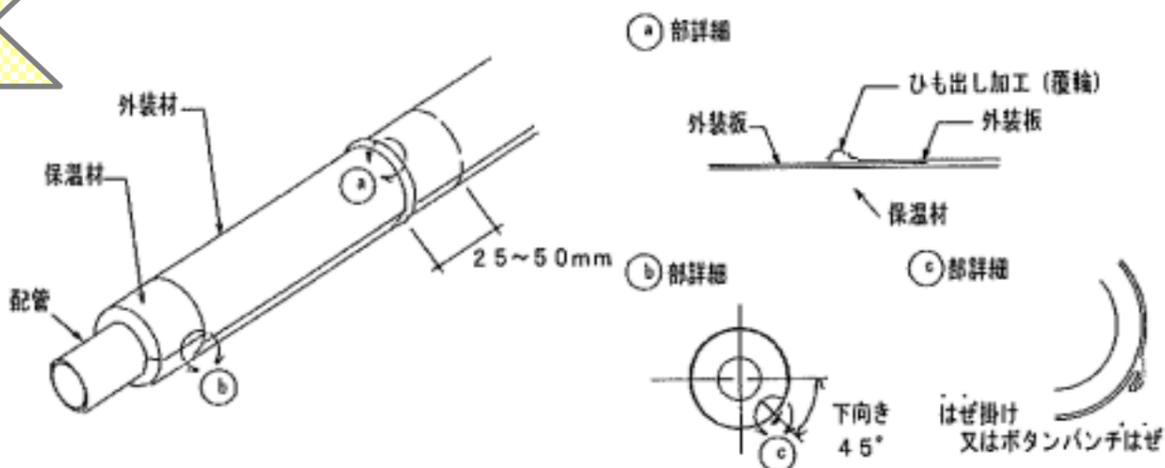
今月の議題

◎ 配管の板金工事について

・ 今月は配管の板金工事について統一を図りたいと思います。今後、野田工業(株)といたしましてはこの施工方法を正とし、現場において実施していただきたいと思います。

水平部

ハゼ部分は
斜め45°



曲り部

ジャケット重ね部分は
25mm～50mm

○ 水平部に関してはハゼ部分をできる限り**斜め下45°**にするようお願いいたします。

○ 曲り部に関してはジャケットの重ね部分を**25mm～50mm**にすること。また、エルボの両端には**コーキング**を施すようお願いいたします。



夏場の感電災害！



夏の労働災害といえば、すぐに「**熱中症**」が思い浮かぶでしょう。しかし、これと並んで、「**感電災害**」も夏場に集中して発生することはご存じでしょうか？

夏季の感電災害は、暑さから絶縁用保護具の使用を怠りがちになること、軽装により直接皮膚を露出することが多いこと、作業時における注意力が低下しがちであること、さらにこれらに加えて、発汗により皮膚自身の電気抵抗や皮膚と充電物との接触抵抗が減少すること等が要因になって多発する傾向があります。

建設業・製造業に多く発生する災害ではありますが、その他の業種においても発生することがあり、注意が必要です。

暑さと感電事故の関係

夏の暑さが、直接感電事故に影響するわけではありません。暑くなると、汗をたくさんかきますね。

実は、この汗が感電事故を引き起こすのです！



水は電気を通しますよね。それが塩水だと、なおさらよく通します。

汗といえば、塩分を含んだ水です。電気が通りやすい条件をしっかりと備えているのがわかります。

乾燥した状態であれば、空気中に逃げてしまう電気であっても、汗をかいた状態だと体に流れてしまうのです。

さらに、暑くなると薄着になります。肌もむき出し、ゴム製の絶縁用保護具をつけるのも嫌になります。ついついこれらの着用を怠ってしまうのも原因の一つです。

夏場の作業は様々な危険が隣り合わせです。まだまだ本格的な夏は来ていませんが暑くなった時に備えて対策をきちんと行いましょう！

また、マスク着用・手指消毒等の感染症対策も引き続きよろしくお願い致します。

野田工業株式会社よりお知らせ

2021年7月3日(土)に開催を予定しておりました弊社安全大会ですが、新型コロナウイルス感染症の収束の目処が立たない為、誠に残念ではありますが中止の判断とさせていただきます。

なお、昨年同様に安全表彰は実施を予定しております。選ばれた方には各担当よりご連絡が行くかと思いますので表彰式への参加をお願いします。

また、今年の安全表彰はウェブ配信を予定しております。ご覧になれる方はぜひ見ていただければと思います。